


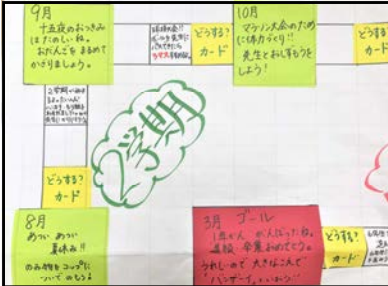
手立て4 手立て1～3を活用した授業実践

授業実践の中で、指導目標の達成を目指して活用した教材等を紹介します。

実践1 教科と合わせず単独で位置付けた類型例

【題材名】 こんなときはどうしたらよいか (全3時間)


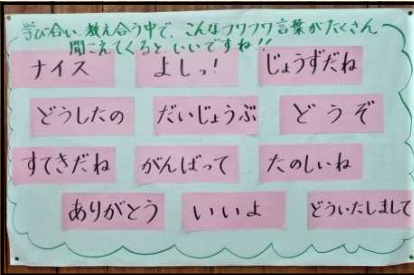
【指導目標】 分からないことや困っていることを伝えることができるようにする。

きょうの よてい えをみて かんがえよう おとあて ゲーム やってみよう ふりかえる かつどう		
授業の流れをスライドに示して可視化し、それを教師が活動ごとに話し、聴覚からの情報として取り入れられるようにしました。児童が安心して学習することができるようになりました。	絵カードを手掛かりにして、困っていることがあったときの援助要請の方法を考えることができました。児童が自分の学習や生活場面の中で、想起しやすい絵を提示しました。	すごろくゲームのマスの中には、援助要請が必要な場面を設定しました。その他のマスは、自立活動における個別の指導計画シートにおける具体的な指導内容を基に作成しました。

実践2 教科と合わせず単独で位置付けた類型例 + 体育科に位置付けた類型例

【題材名】 気持ちのコントロール名人になろう (全3時間)

【指導目標】 気持ちが落ち着かなくなったときの対処法を考え、実際の生活や学習場面に活用できるようにする。

		
目隠しをし、友達言葉による誘導で福笑いを完成させる協力福笑いゲームを作成しました。お互いに優しい言葉をかけ合いながら活動することができるよう、この時間は、グループでの活動時間を設定しました。	児童が表出した優しい言葉を色付きの発泡スチロールに置き換え、透明な瓶の中にためていきました。児童の心の中にはたくさんの優しい言葉があることを量的に可視化しました。	児童が自立活動で学んだことを交流及び共同学習における体育の学習時に、壁面に掲示しました。児童が、体育の学習の中でも、自立活動の目標を意識して活動することができるようにしました。

研究内容や自立活動ガイドブックは、当センターのWebページに掲載しています。

<http://www1.iwate-ed.jp/kankou/kkenkyu/176cd/r02you.html>



自閉症・情緒障がい特別支援学級における教育課程の適切な実施に関する研究

— 教育活動における自立活動の効果的な取組を通して —

【研究担当者】 長期研修生 阿部 ゆか
(所属校 盛岡市立月が丘小学校)

【この研究に関する問い合わせ先】
TEL 0198-27-2821 FAX 0198-27-3562
E-mail sien-r@center.iwate-ed.jp

I 研究の構想

小学校の教育課程の内容は、各教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間、外国語活動、特別活動です。小学校の自閉症・情緒障がい特別支援学級には、自立活動を取り入れることが規定されています。よって、小学校の自閉症・情緒障がい特別支援学級には、小学校の教育課程に自立活動を加えた教育課程を編成することになります。

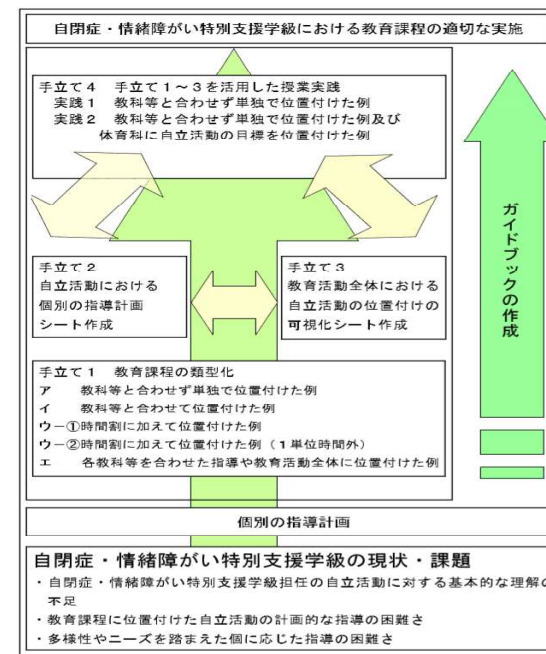
しかし、小学校の自閉症・情緒障がい特別支援学級における自立活動を加えた教育課程の実施に当たっては、以下の課題も挙げられています。

- ・自閉症・情緒障がい特別支援学級担任の自立活動に対する基本的な理解の不足
- ・教育課程に位置付けた自立活動の計画的な指導の困難さ
- ・多様性やニーズを踏まえた個に応じた指導の困難さ

これらの課題を踏まえ、「自閉症・情緒障がい特別支援学級における教育課程の適切な実施」に向け、手立てを下図の4点として、研究を進めました。

「教育課程の適切な実施」の捉えについて

- ・自立活動を位置付けた教育課程が組まれている。
- ・児童の実態から「自立活動における個別の指導計画シート」が作成されている。
- ・教育活動全体における自立活動の位置付けが明確になっている。
- ・自立活動における個別の指導計画シートを活用した授業実践及び授業改善がなされている。



- 第1章 教育課程の類型化
第2章 自立活動とは
第3章 授業づくり
参考資料

【研究構想図】

II 実践

手立て1 教育課程の類型化

自立活動を位置付けた小学校の自閉症・情緒障がい特別支援学級の教育課程をア～エの四つに分類しました。

- ア 教科等と合わせず単独で位置付けた例
- イ 教科等と合わせて位置付けた例
- ウー①時間割に加えて位置付けた例
- ウー②時間割に加えて位置付けた例（1単位時間外）
- エ 各教科等を合わせた指導や教育活動全体に位置付けた例



ア 自立活動を教科等と合わせず単独で位置付けた例を紹介します。

例えば、このような児童のために生活上の困難を改善・克服するために課題を取り出して指導したいです。

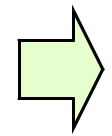
個々のニーズや実態に応じて、生活上の困難を改善・克服するために児童の課題を取り出して指導する場合、教科等とは合わせずに自立活動の指導内容として示されている6区分27項目の指導をすることができます。

この例は、月曜日の1校時に自立活動を位置付けています。基本の時間割は国語ですが、教科等とは合わせずに自立活動を設定します。6区分27項目の「1人間関係の形成（1）他者とのかかわりの基礎に関すること」や「6コミュニケーション（2）言語の受容と表出に関すること」を指導内容に設定した場合として、国語の時間に設定しました。児童の指導内容によって、どの教科等に位置付けるかは異なります。

	各教科										特別の教科道徳	外国語活動	総合的な学習の時間	特別活動	自立活動	合計
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語						
標準時数	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35		70	35		1015
ア	140	100	175	105		50	50	60	90	70	35		70	35	35	1015

【自立活動を位置付けた教育課程の一例】
（文部科学省 中央教育審議会 教育課程特別支援部会、2016の図を参考に筆者作成）

	月	火	水	木	金
朝学習・朝の会等					
1	国語	算数	社会	図工	算数
2	外国語	学活	書写	算数	社会
業間休み					
3	算数	社会	算数	理科	家庭
4	体育	国語	体育	国語	国語
給食・昼休み・清掃等					
5	音楽	外国語	音・図	体・家	理科
6	理科	道徳	総合		委・ク
帰りの会					



	月	火	水	木	金
朝学習・朝の会等					
1	自立活動	算数	社会	図工	算数
2	外国語	学活	書写	算数	社会
業間休み					
3	算数	社会	算数	理科	家庭
4	体育	国語	体育	国語	国語
給食・昼休み・清掃等					
5	音楽	外国語	音・図	体・家	理科
6	理科	道徳	総合		委・ク
帰りの会					

その他の類型例及び詳細につきましては、「自立活動ガイドブック」PP.3～7をご覧ください。

手立て2 自立活動における個別の指導計画シート作成

自立活動における個別の指導計画シート作成例

学年・障がいの種類	1 児童の実態	2 課題の特定	3 人間関係の形成	4 関係の形成	5 身体の動き	6 コミュニケーション
児童の実態	1 健康の保持 ・身体が動かす喜びを好む。 項目(5)	2 課題の特定 ・自分の行動を言葉で表したときに反応して興奮を顕われないことがある。	3 人間関係の形成 ・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	4 関係の形成 ・特定の友達を集中的に養育することがある。	5 身体の動き ・特定の友達を集中的に養育することがある。	6 コミュニケーション ・特定の友達を集中的に養育することがある。
作成のポイント	ア					
課題の特定	1 健康の保持 ・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	2 課題の特定 ・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	3 人間関係の形成 ・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	4 関係の形成 ・特定の友達を集中的に養育することがある。	5 身体の動き ・特定の友達を集中的に養育することがある。	6 コミュニケーション ・特定の友達を集中的に養育することがある。
作成のポイント	イ					
指導目標	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。
作成のポイント	ウ					
指導目標を達成するために必要な内容項目の設定	1 健康の保持 ・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	2 課題の特定 ・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	3 人間関係の形成 ・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	4 関係の形成 ・特定の友達を集中的に養育することがある。	5 身体の動き ・特定の友達を集中的に養育することがある。	6 コミュニケーション ・特定の友達を集中的に養育することがある。
作成のポイント	エ					
具体的な指導内容	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。
作成のポイント	オ					
題材名	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。
作成のポイント	カ					
評価	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。	・友達から強い口調で話されると乱暴な言動になることがある。気持ちを落ち着かせるまでに時間がかかる。
作成のポイント	キ					

- ア 児童の実態
児童の困難なことのみを観点にするのではなく長所や得意としていていることも把握します。
- イ 課題同士の関連
中心的な課題を導き出すために記載します。児童の課題において、相互に関連し合っている項目を視点とします。
- ウ 指導目標
自立活動の指導の効果を高めるために、学年の長期的な目標と共に、短期的な目標も視野に入れて設定します。
- エ 指導目標を達成するために必要な内容項目の設定
該当する内容項目の外枠を太線で囲むことにより内容項目を端的に把握できるようにします。
- オ 具体的な指導内容
内容項目と指導内容における関連のある点(●)同士を線で結ぶことにより、内容項目と指導内容の関連性を把握できるようにします。
- カ 題材名
どのような学習内容なのかを児童に分かるようにネーミングにします。
- キ 評価
児童の評価と共に指導の評価ともなり得ます。次の題材の指導に評価を生かします。

手立て3 教育活動全体における自立活動の位置付けの可視化シート作成

関係法	学校教育目標	児童の実態
日本国憲法 教育基本法 学校教育法 その他の教育関係法規 児童発達支援法 障害者教育指導指針 関係法	心身ともに健康で、よく学び、豊かな心をもつ。明るくたくましく生き抜く子ども。子どもでかえりあえる子ども(知)よく聞き、よく考え、他の人の考えも尊重しながら学ぶ子ども。 思いやりのある子ども(徳) 尊敬の気持ちで、相手の気持ちを考え、優しいで行動する子ども。 じょうぶな子ども 心身の健康を保ち、明るく元気に、最後まで粘り強く活動する子ども	○身体が動かす喜びがある。 ●自分の行動を言葉で表したときに、反応して興奮を顕われない時がある。 ●特定の友達を集中的に養育する事がある。
作成のポイント	ウ	ア
各教科における自立活動とのかかわり	学校全体で育成すべき資質・能力 新しい時代を創造するためにたくましく生き抜く人づくりを目指し、豊かな人間関係を築く学校・学年づくりを基盤とし、学び合い、高め合い、支え合い、共に力を合わせて生活する力を育む。	保護者・教師の願い ・友達との内着な関わり ・正しい日常生活のリズム
自立活動の目標 ・気持ちが落ち着かなくなった時の対処方法がわかる。 指導の目標を達成するために必要な内容項目の設定	1- 4月 実物把握 2- 5月 6月 3- 7月 気持ちのコントロール 4- 8月 5- 9月 気持ちのコントロール 6- 10月 7- 11月 気持ちのコントロール 8- 12月 3月	運道における自立活動とのかかわり ・友達と仲よく関わることでできるようにするために、(思いやり、親切)の項目では、役割演技によって、適切な行動をしようとする心構えを育てる。 【3人間関係の形成-(4)】【6コミュニケーション-(2)】
作成のポイント	エ	イ
年度末に目指す姿 ・気持ちが落ち着かなくなった時の対処方法を理解しそれらの中から自分に適した気持ちを落ち着かせることができるようにする。 【3人間関係の形成-(4)】	総合的な学習の時間における自立活動とのかかわり ・好き嫌いを克服し、食べ方や姿勢について調子がよくなる。声かけは段階的に減らしていく。 【1健康の保持-(1)】【5身体の動き-(1)】	特別活動における自立活動とのかかわり ・友達と仲よく関わることでできるようにするために、(思いやり、親切)の項目では、役割演技によって、適切な行動をしようとする心構えを育てる。 【3人間関係の形成-(4)】【6コミュニケーション-(2)】
作成のポイント	オ	カ
年度末の達成 ・本児童の役割や行動の順番を可視化した状態で気持ちを落ち着かせることができるようにする。	給食時間における自立活動とのかかわり ・好き嫌いを克服し、食べ方や姿勢について調子がよくなる。声かけは段階的に減らしていく。 【1健康の保持-(1)】【5身体の動き-(1)】	推進体制 ・校長 ・副校長 ・特別支援コーディネーター ・特別支援学級担任 ・交流学級担任 ・その他児童にかかわる教職員

本シートを活用し、児童の指導に直接関わる教職員と協議の場をもちます。活用の視点は、以下のとおりです。

- ① 児童の実態の確認
- ② 教育課程における児童の自立活動の位置付け
- ③ 教科等における自立活動との関わり
- ④ 題材の目標と評価
- ⑤ 題材における教員それぞれの支援場面と支援の方法及び声かけ



教育活動全体における自立活動の位置付けを関係する職員で共有する場面

児童の実態を把握し、指導場面や声かけ等を共通理解します。これにより、児童の生活場面においても児童の指導目標を意識した声かけをすることができます。